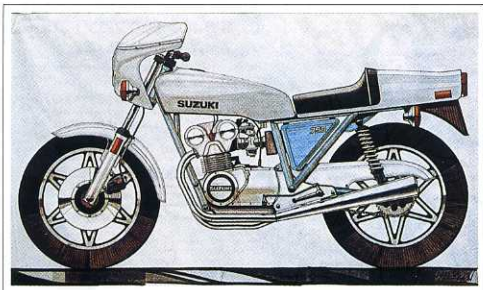
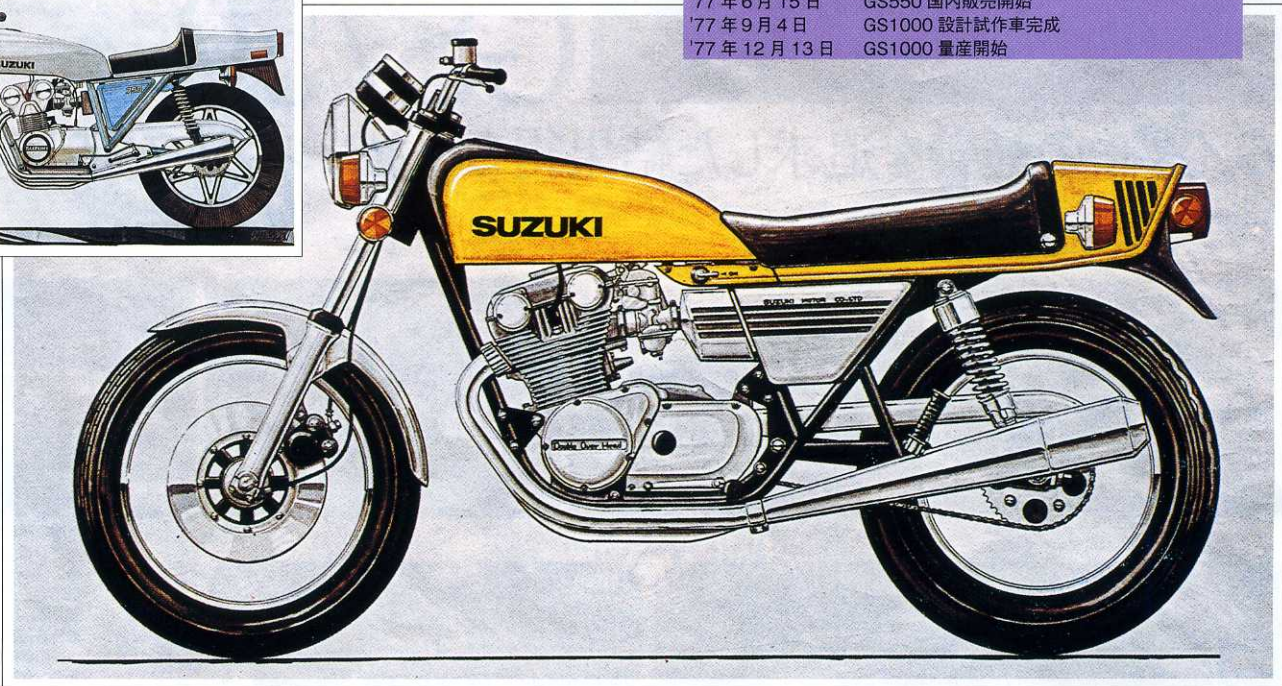


GS スズキ製4サイクルの礎、その開発記

シリーズを創った男たち



企画段階では何枚ものイメージスケッチが提出されるが、これはその中の2点。初期にはダイヤモンドフレームやピニオンカウル、キャストホイールを備える案もあったようだが、市販車ではオーソドックスなスタイルに落ち着いている。



●GSシリーズ誕生の歩み

'73年11月8日	清水正尚部長より4サイクル計画の指示
'74年2月1日	4サイクルプロジェクト正式発足
'74年2月21日	上層部よりZ1以上のスーパーバイク開発の指示
'74年6月29日	GX960 開発試作車完成
'74年11月14日	免許制度改正により400cc2気筒の開発を決定
'75年1月6日	GX960 開発中止
'75年5月20日	GS400 設計試作車完成
'75年8月22日	GS750 設計試作車完成
'75年9月22日	GS550 設計試作車完成
'76年1月4日	GS750 全負荷耐久2万kmテストクリア
'76年6月4日	GS750 量産開始
'76年8月27日	GS400 量産開始
'76年11月1日	GS750 国内販売開始
'76年12月1日	GS400 国内販売開始
'77年1月21日	GS550 量産開始
'77年6月15日	GS550 国内販売開始
'77年9月4日	GS1000 設計試作車完成
'77年12月13日	GS1000 量産開始

スズキ 4サイクルエンジンの父 中野廣之

スズキOBの中野さんによる「日本モーターサイクルレースの夜明け」というウェブサイト(www.iom1960.com/)には、'60年代のロードレースについて詳細かつ貴重な記録が発表されており、歴史的に意義深いものとなっている。このサイト内には「GSシリーズ開発物語」という項目があり、こちらにも当時の記録が克明に記されている。

本企画はこのサイトがあったからこそ成立したと言え、横内さんからも「GSの開発話を聞くなりゃあ中野さんが一番だよ」との推薦をいただくが、本人に連絡を取ってみると残念ながら数年前から体調を崩しているとのことで、取材は断念せざるを得なかった。ただしサイト内の記事引用を快く承していただけました。(高野英治)

中野廣之(なかのひろゆき) 略歴

●1932年8月19日静岡県藤枝市生まれ。静岡大学工学部機械工業科卒業。55年に丸正自動車製造入社。58年6月にスズキ入社後はレース用2サイクルエンジンの設計に従事し、'67年11月より四輪車用4サイクルエンジンの開発設計。74年3月よりGSシリーズのエンジンを開発。78年主管に昇進。4サイクル二輪車の実験を担当、'84年まで全グループを統括。'85年からは中国プロジェクトの四輪技術担当となり、'94年8月に退社。



2サイクルから 4サイクルメーカーへの転換期

自動車排出ガス規制として有名なアメリカのマスキー法が制定されたのは、'70年12月であった。交通機関の発達とともに公害が社会問題となり、米国政府は'55年から大気浄化法や大気汚染防止法を制定。わが国でもこれに追随し、'71年には環境庁が発足、'78年に国内自動車排出ガス規制が行われた。

創業以来2サイクル専門メーカーとして実績を積み重ねてきたスズキも'60年代後半より低公害型エンジンの開発に着手、このとき4サイクルエンジンの開発研究に携わっていたのが中野廣之であった。

だが、スズキ上層部は環境対策型2サイクルエンジン「EPIC」の開発を推進させ、4サイクルエンジン開発グループは'70年に解散している。しかし結局EPICでの排ガス規制クリアは実現せず、中野は後年「4サイクル

エンジンを捨ててスズキの将来は大丈夫だろうかと危惧した」と述べている。

中野はその後四輪エンジン設計部を経て小型ロータリーエンジンの開発を手がけるが、'73年11月8日に清水正尚二輪設計部長より「スズキも4サイクル二輪車の開発を急ぐ必要が出てきた。4サイクルエンジンの経験者は、中野君しかいないのだから頼む」との指示があり、'74年2月1日には正式に4サイクルプロジェクトが発足した。

初期メンバーは設計担当に桐生宗典、太田省吾。実験担当に滝本康広、鈴木一、そして藤井康暢の5名で、中野は業務の都合上およそ2ヵ月ほど遅れての着任となった。

「エンジン試作の中心人物は何と言っても中野廣之さんだった。さらに品質保証部長の中村賢治さんがまとめ役として動き、工機工場長の御子柴正太さんと力を合わせて毎日頑張っていましたね」(横内)

「御子柴さんの口癖は『死んでもやれ』でした。明日の朝までに部品が欲しい、と言うと必ず作ってくれていた」(藤井)

「音が出るとか壊れるとかは品質保証部の責任なわけです。その長である中村さんはあま